

研究課題名	肺癌におけるLPS(リポ多糖)をバイオマーカーとした腫瘍悪性度、及び予後に関する研究
研究期間	実施許可日～2030年3月31日
研究の対象	2015年1月1日～2025年7月31日の間に広島大学病院呼吸器外科で肺癌の手術治療を受けられた方の中で、E2009-9938「被爆者がんの分子発がん機構研究のための生体試料保存」の研究に参加し、二次利用に同意いただいた方
研究の目的・方法	研究目的：LPSが肺癌に及ぼす影響を明らかにすることです 研究の方法：診療録、病理診断科で保管されている組織標本、E2009-9938「被爆者がんの分子発がん機構研究のための生体試料保存」で保存されている残余肺組織、残余肺腫瘍、血液を利用して、LPSや歯周病菌が肺癌にどのように影響するか明らかにします。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：診療録から年齢、性別、術前PS、喫煙歴、喫煙指数、術前身長、術前体重、併存疾患、術前CT所見(腫瘍の位置、腫瘍径、充実径、リンパ節転移の有無、遠隔転移の有無、背景肺)、術前PET-CTのSUV値、血液検査(血液学検査、生化学検査、免疫血清学検査)、臨床病期、術前呼吸機能(FEV1.0、%FEV1.0、VC、%VC、FVC、%DLCO)、手術日、術式、切除部位、手術時間、出血量、術後合併症、術後呼吸機能(FEV1.0、%FEV1.0、VC、%VC、FVC、%DLCO)、病理学的組織型、病理病期、病理学的因素(静脈侵襲、リンパ管侵襲、胸膜浸潤)、術後補助療法の有無(レジメン含む)、再発の有無、再発日、再発部位、再発後治療内容、無再発生存期間、全生存期間、死因等 試料：血液、肺組織
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日(2025年10月10日)
個人情報の保護	試料・情報は研究に使用する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 肿瘍外科 教授 岡田 守人
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出

による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 呼吸器外科

担当者：網岡 潤、見前 隆洋

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5869